

標十五句

松岡隆子選

柚の花の風なき夕べ零れつぐ
香水を薫らせてみる家居かな
白菖蒲雨のあとさき匂ひけり
花過ぎの日だまりに置く試歩の靴
屋上へ呼ばれてをりぬ抱卵期
出航や大夕焼の裾めやらず
ありあはす紙にメモ書く目借時
この先も暈のくらし更衣
日射し濃き松の高みを黒揚羽
バス乗るも降りるもつつじ明かりかな
鹿の仔の煎餅売りの端にゐる
うかと踏む土竜のあげし春の土
匂ひくる木の花白き立夏かな
都合よく変る思ひ出熱帯魚
どの鳥となく集まつて新樹かな

渡辺あつ子
染谷晴子
佐藤郭子
白井清春
別府優
松原ふみ子
生方ふよう
川上昌子
内山けい子
稲田節子
富樫郁子
藤田幸子
田中敦子
梶浦道成
田幡栄子